

1. 会場・コース・種目

雫石スキー場 ジョイフルコース SL種目2連戦（2本レース）

2. 選手受付・ビブ配布

当日、旧第1 Gondola乗場1階にて7:30から受付。必ずチーム代表者が受取る事。ビブ、ドリンク。

1~4組は赤ビブ1番からとし、5~6組は黒ビブ1番からとする。健康観察表は不要。

3. リフト券販売、リフト運航時間

大会当日、7:30から旧第1 Gondola乗場1階チケット売り場で販売する。大会割引券はありません。

高速リフト競技役員8:00、1~4組は8:10乗車可能。5~6組は後から乗車する事。

県内共通バス、シーズン券を所持している人は、チケット売場で乗車券を受取る事！！

4. アップバーン

大会専用アップバーン、ポールセットは無し。フリーのみ。スピードの出しすぎに注意すること。

5. スタート順・方法（タイムテーブル参照）

JOC岩手県選考レースのため、3組、4組を優先する。

3組、4組、1組、2組、5組、6組の順。 2本目は各組15番リバーズとし16位以降は1本目のタイム順とする。

SLはスタート合図員の「レディ・ゴー」の合図により5秒以内にスタートすること。

インターバルは約30秒間隔とする。ジュリーの判断によりインターバルをあける場合もある。

6. ポールセット

シングルゲートとしφ27ミリを使用する。（第1旗門、最終旗門、デイルトゲートを除く）

1組~4組は、JOCの競技種目を想定し、チューブポールをメインとしたセットで行う。

7. コースインスペクション時間、方法（タイムテーブル参照）

ビブを着用の上、上からデラパージュで行うこと。30分間、入場制限20分後。

8. コース整備

随時行い、コース状況によりレースを中断する場合がある。融雪時、スノーメントを使用する場合がある。

9. 途中棄権

途中棄権者は、近くの競技役員にはっきりと意思表示を行い、コース脇をゆっくり移動すること。

10. スイッチバック（別途HP資料参照）

・ICR614.2.3の通り、競技者が止まった後の継続は禁止する。（例：転倒、足のぼり）

・また、ICR804.3の通り「シングルポールスラローム競技における通過の定義」のルールを採用する。

※1本目にDF（途中棄権）やDQ（失格）になった選手も、2本目にオープン参加で滑ることを許可する。滑走順は1~4組の選手は2組の2本目終了後、5~6組の選手は6組の2本目終了後。滑走する意思のある選手はビブを返却せず、2本目インスペクションに参加する事。必ずチームキャプテンの同意を得る事。

11. ゼッケン回収

レース終了後、必ずフィニッシュエリアの回収袋に返却すること。あらかじめ棄権する場合は競技開始前に受付、フィニッシュハウスに報告の上返却すること。途中棄権者も必ず返却する事。

12. 成績表、表彰式

仮発表タイム及び主審決定報告書は、放送及びゴールエリアに掲示、公式成績表はHPに掲載する。

表彰式は6組2本目終了後、直ちにゴールで行う。6位までの選手は集合の事。不参加者へは郵送する。

※表彰式終了後、JOC参加意思確認を行いますので、該当選手のコーチは集合下さい。

13. その他の注意（補足）

1 点呼は約10分前に行う。棄権者がある場合、繰上げスタートするため、早めに集合する事。

2 クラッシュヘルメットを必ず着用してください。ネックウォーマーの上からのあごひも不可。

3 サポーターについて、コース係の指示に従いコース整備を兼ねて降りてください。（状況次第）

4 競技時間を変更する場合、場内放送で随時連絡するのでご注意ください。

5 当日は一般営業もあるため、スピードの出しすぎには十分注意する事。また、スタート・フィニッシュ地点へのごみの投げ捨てや、一般客の迷惑になるような行為をしない事。

6 選手の荷物について、基本的に車に置くこととし、レストランや山麓駅内に放置しないこと！

7 大会のスムーズな運営に関係各位の御協力をお願いします。

14. 各種感染症対策について

・大会参加前、当日、参加後も検温など体調管理を行うこと。体調に不安がある場合、参加自粛下さい。

・換気対策のため、スタートテントは設置しません。